

■黒崎播磨(株)赤穂工場

(赤穂市鷗和１０６１番地)



黒崎播磨は、1919 年の創業以来、「より良く、より早く、より安く」という創業社是を掲げ、耐火物の製造及び販売を通し、一貫して鉄鋼業をはじめとする日本の基幹産業を支える重要な役割を担ってまいりました。

赤穂工場は、豊かな環境と原料資源のもと、1939 年日本炉材製造（株）赤穂工場として発足しました。それ以来耐火物全般の製造工場として変遷を繰り返し、1950 年播磨耐火煉瓦（株）、1988 年ハリマセラミック（株）の中核工場として合理化、近代化に努めて参りました。2000 年には黒崎窯業（株）とハリマセラミック（株）が合併し、黒崎播磨（株）赤穂工場が誕生致しました。

環境保全面では、1970 年代のオイルショックを契機にして、永年、省エネルギー、生産プロセスの改善や高度化による環境改善に大きく貢献してまいりました。今後は技術革新を基にして環境に優しい製品プロセスの構築、お客様の生産工程で環境負荷を低減させる商品の開発、環境に配慮した景観材商品のご提案など、いっそうの省エネルギー、地球環境保全活動を推し進め、持続的な成長の見込める事業展開してまいります。

環境保全に関する環境方針

環境宣言
地球規模で環境破壊が進む今日、次の世代へ美しい地球を引き継ぐために我々は、社会に信頼され信頼に応える企業として、地球環境保全に積極的に取り組みます。
環境方針
環境宣言を受けて、環境方針を以下のように定める。 a) 耐火物とセラミックスの総合ソリューション事業を行うにあたり、商品の研究開発、設計、原料調達、製造、サービス、顧客での使用・廃棄の全ての段階において、地球温暖化防止、省資源、リサイクル、廃棄物削減、汚染の予防等、環境負荷の低減に積極的に取り組む。 b) 環境保全推進の責任を明確にし、環境管理組織を整備して、全社員が環境負荷の継続的な改善と汚染の予防に努める。また、活動にあたっては、環境目的・目標を設定して実行推進し、定期的に見直しを実施する。 c) 環境法規制及び利害関係者との同意事項を遵守する。 d) 地球環境と人間社会との共生を目指し、より豊かな環境づくりに貢献する。